

生物

選択 • 医療保健学部 医療技術学科

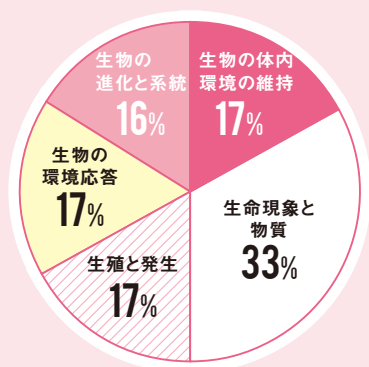
用語や現象、しくみなどの正確な知識が必要。
教科書の図やグラフも活用して、深い理解を!

出題分野

- ✓ 基本的な知識を正確に身につけることが必須!
用語やしくみを正確に理解しよう!

2020年度は、大問数は5題。出題範囲となっている生物の各分野と、生物基礎の「生物の体内環境の維持」から出題された。いずれも基本的な知識を問う問題であるが、2020年度は塩基配列の解析やPCR法などの原理や、ミツバチの8の字ダンスについての理解が問われた。

語句や記述の組み合わせを選択する問題が多く、すべての選択肢について吟味する必要がある。出題範囲についての正確な知識が必要とされる。基本的な用語だけでなく、しくみや原理についてもしっかりと理解を深める必要がある。選択マーク数は30で、試験時間60分に対して十分に解き終えることのできる問題数である。

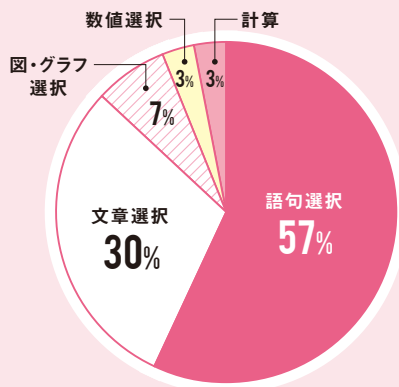


出題形式

- ✓ 語句選択・文章選択問題が多くを占める!
文章選択問題で差がつく!

2020年度は語句選択・文章選択形式が多くを占めた。そのうち、語句や文章の組み合わせを解答する問題がほとんどであった。また、ジデオキシヌクレオチドの構造など図・グラフ選択形式も出題された。教科書の図について、用語やはたらきと合わせて理解しておく必要がある。

また、生殖細胞の染色体の組み合わせなどの計算問題も出題された。各設問について、4~10の選択肢があり、文章選択問題の組み合わせの判断に時間を要するため、語句選択問題は手早く解答する必要がある。そのため、教科書にある基本的な用語や現象、しくみについて、図やグラフも合わせた理解が必要とされる。



北陸大学 生物の攻略法

01 苦手分野をなくし 基本的な知識を確実に押さえよう!

出題範囲の分野について、苦手な分野がないようにしておきたい。実験結果の考察が必要な問題や難しい計算問題は少ないため、まずは教科書にある重要用語・語句はその意味やはたらきなどと合わせて確実に押さえよう。

02 制限時間を設定して 問題演習を重ねよう!

問題集や過去問題に取り組み、間違えた問題や理解があいまいなところを中心に補強しよう。組み合わせの語句選択・文章選択問題に慣れ、演習は制限時間を意識して取り組むことで、解答のペースをつかみ、入試に備えよう。

金沢大学・富山大学との比較

金沢大学は大問数5題で、生物基礎・生物の全範囲から出題され、記述式の解答形式である。基本的な知識を問う語句の空所補充問題、計算、実験考察問題、仮説検証問題が出題された。富山大学も大問数5題で、生物基礎・生物の全範囲から出題され、多くは記述式の解答形式である。基本的な知識を問う問題、計算、実験考察問題が出題された。語句や文章の選択式問題と、記述式での生物用語を問う問題や、しくみや理由などを説明する80字の論述問題も出題された。基本的な知識問題対策にこの2大学の過去問題を活用しよう。2大学の問題では、リード文の空所補充問題では基本的な知識が問われている。金沢大学は、リード文がやや長めであり、記述式であるが、正確な知識が身につけているか確認でき、リード文を読むことでしくみや現象の理解を深めることができる。富山大学は、北陸大学と同程度の長さのリード文であり、記述式だけでなく語句選択の問題もあるため入試直前に取り組むと効果的だ。また、文章選択問題は、しくみや現象についての基本的な理解が問われる。北陸大学では生物基礎の「生物の多様性と生態系」、生物の「生態と環境」は出題範囲外のため、それ以外の分野について取り組んでみよう。